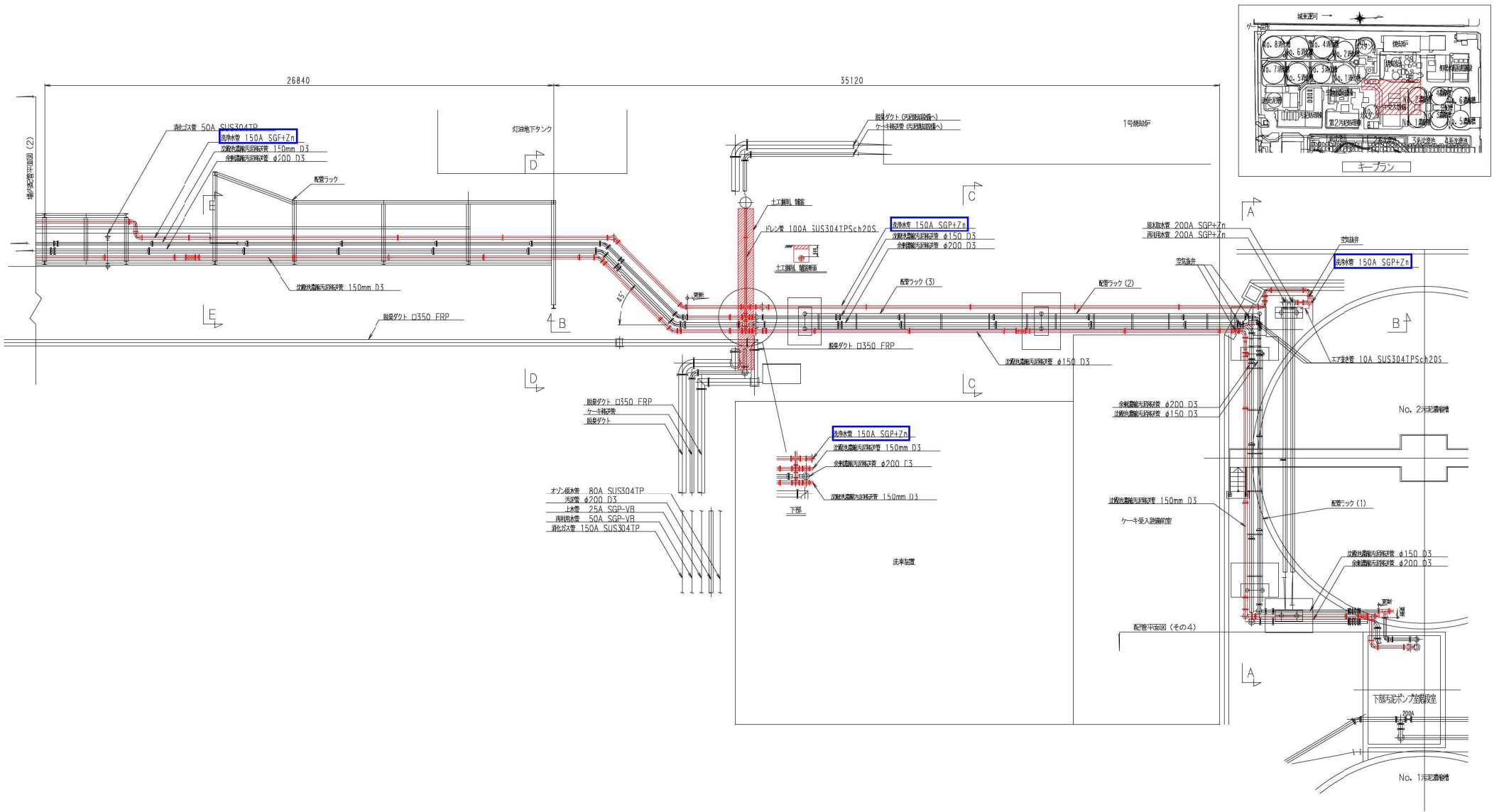


令和2年10月21日 公告

放出下水処理場汚泥濃縮前処理外設備工事

1 設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

訂正箇所	誤	正
図面全79葉内第61号	図面の通り	図面の通り
図面全79葉内第62号	図面の通り	図面の通り
図面全79葉内第63号	図面の通り	図面の通り
図面全79葉内第65号	図面の通り	図面の通り

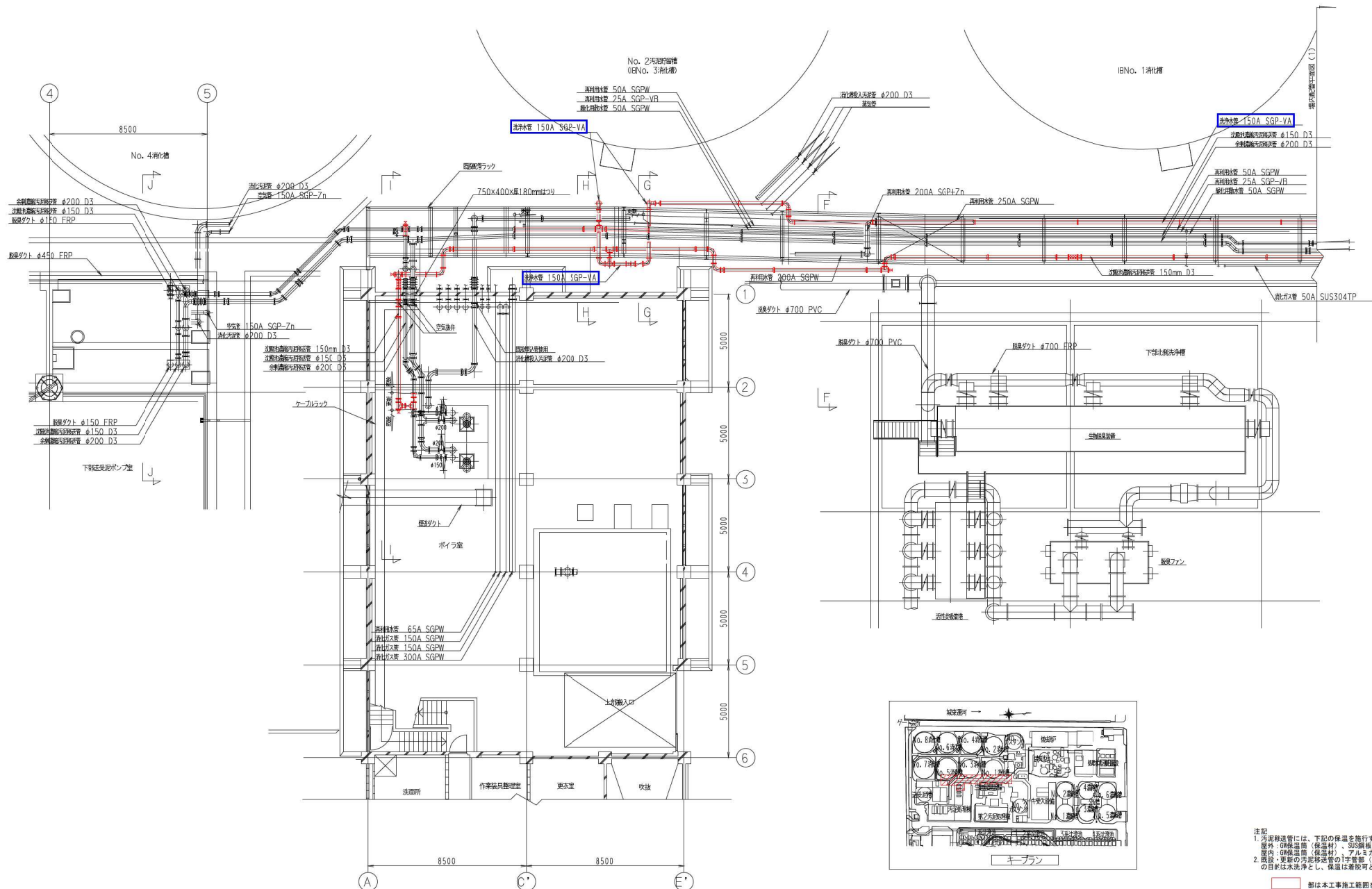


場内配管平面図

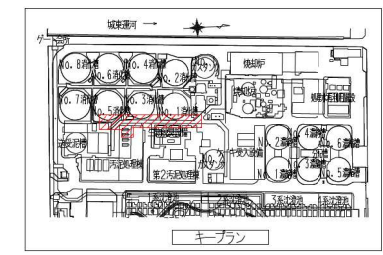
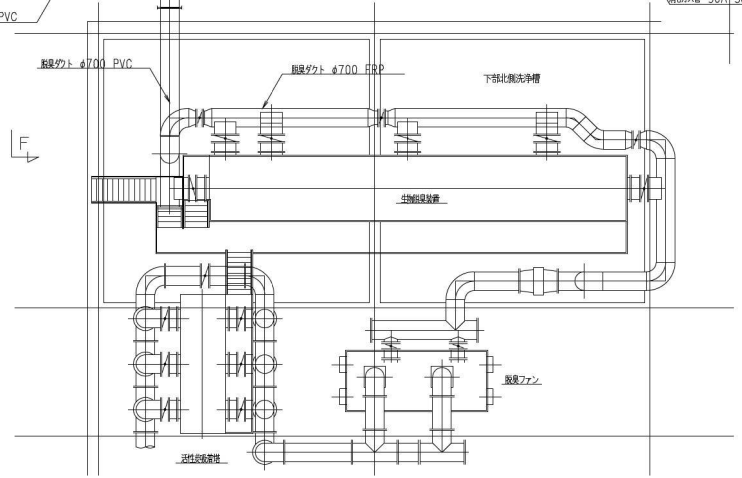
注記
 1. 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
 屋外：断熱保温（保温材）、SUS鋼板（外装材）
 屋内：断熱保温（保温材）、アルミガラスクロス（外装材）
 2. 既設・更新の汚泥移送管の1号管（04仕切付付）の目的は水洗浄とし、保温は省略可とする。

■ 部は本工事施工範囲を示す。

名 称	放出下水処理場
	汚泥濃縮前処理外設備工事【訂正後】
	濃縮汚泥引抜き工 場内配管平面図(1) (更新)
尺度	1/200
	PM-
	金沢管内第01号
大阪市建設局下水道部設備課	



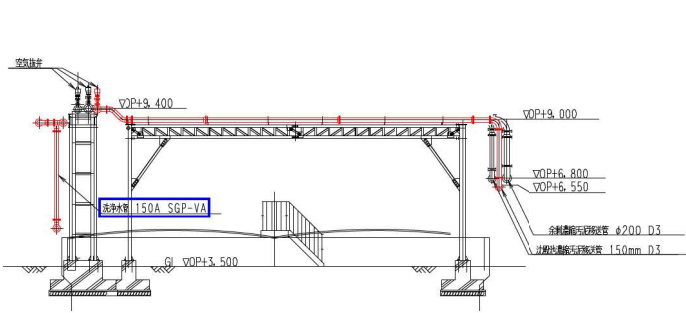
場内配管平面図



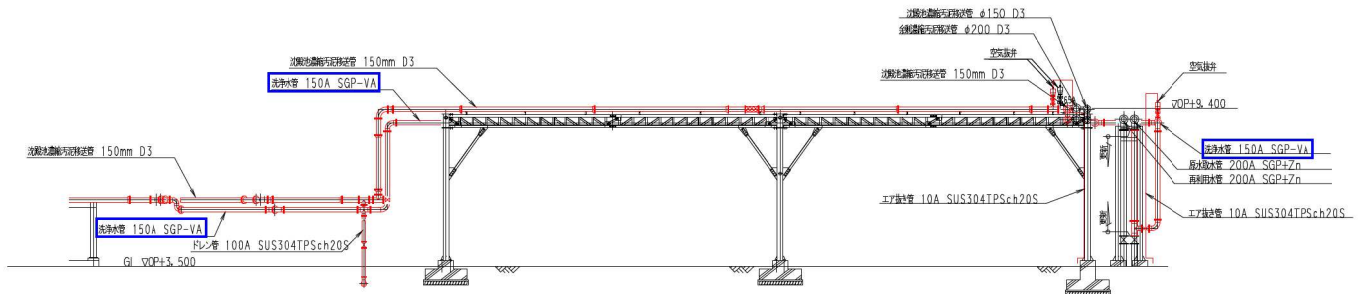
注記
 1. 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
 屋外：GR保温管（保温材）、SUS鋼板（外装材）
 屋内：GR保温管（保温材）、アルミガラスクロス（外装材）
 2. 既設・更新の汚泥移送管の1号管敷（304仕切付金）の目的は水洗浄とし、保温は着脱可とする。

部は本工事施工範囲を示す。

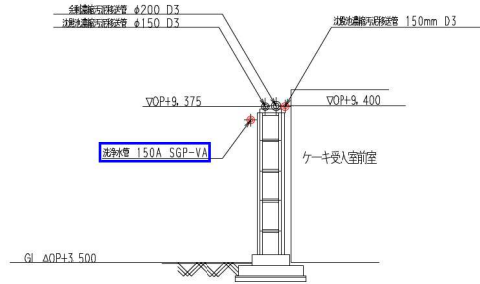
名	放出下水処理場
	汚泥濃縮前処理外設備工事【訂正前】
称	濃縮汚泥引込管工 場内配管平面図② (更新)
	尺度 1/200 PM 全庁管内第2号
大阪市建設局下水道部設備課	



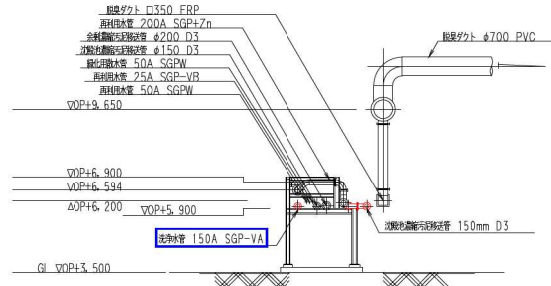
A-A 断面図



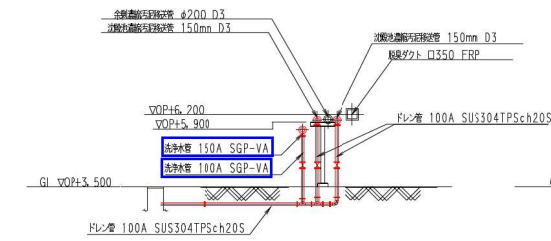
B-B 断面図



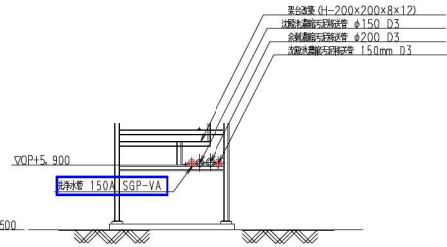
C-C 断面図



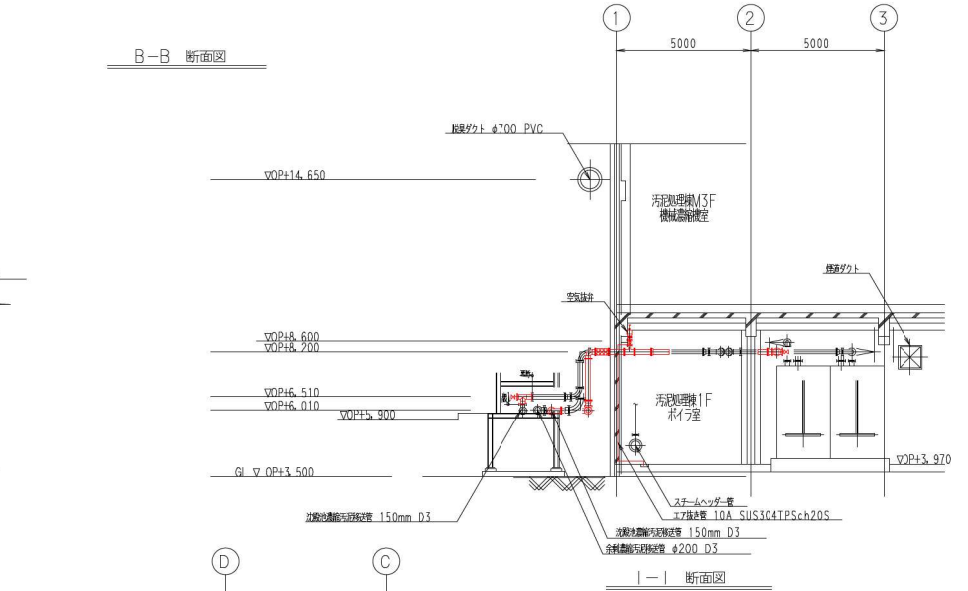
F-F 断面図



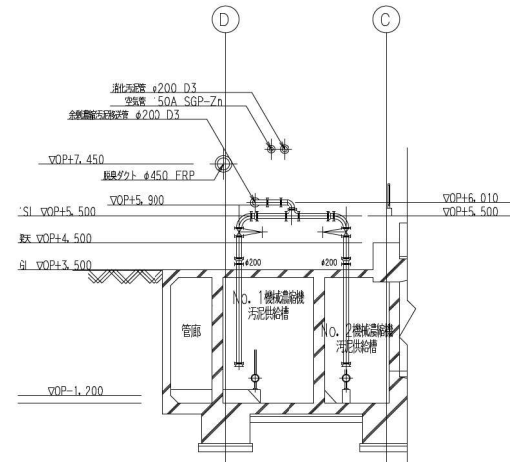
D-D 断面図



E-E 断面図



I-I 断面図

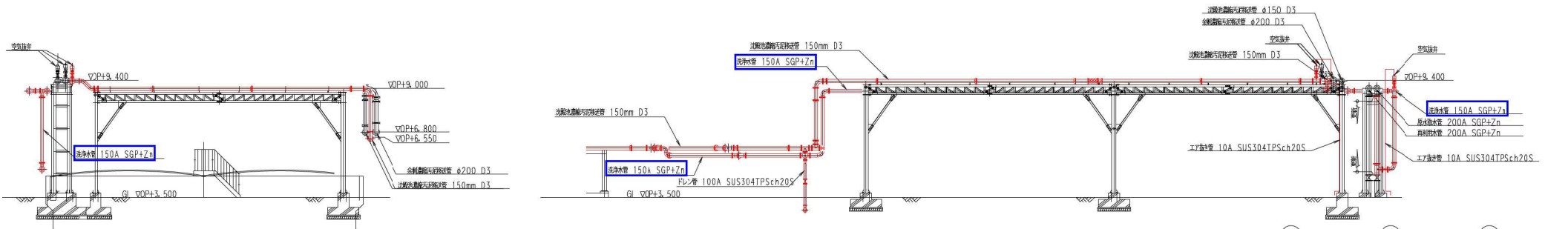


J-J 断面図

- 注記
- 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
屋外：断熱保温（保溫材）、SUS鋼板（外装材）
屋内：断熱保温（保溫材）、アルミガラスクロス（外装材）
 - 既設・更新の汚泥移送管の保温断熱（断熱材付付）の目的は水洗浄とし、保温は着脱可とする。

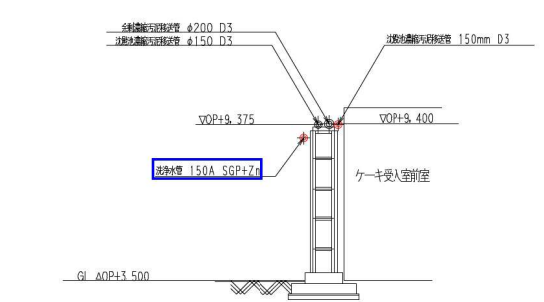
■ 部は本工事施工範囲を示す。

名 称	放出下水処理場
	汚泥濃縮前処理外設備工事
	濃縮汚泥引管工 配管断面図 (更新) 【訂正前】
	大阪市建設局下水道部設備課
尺度	1/200
図名	配管断面図 (更新) 【訂正前】
ページ	第3号

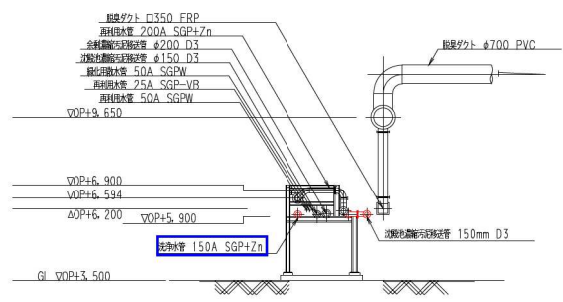


A-A 断面図

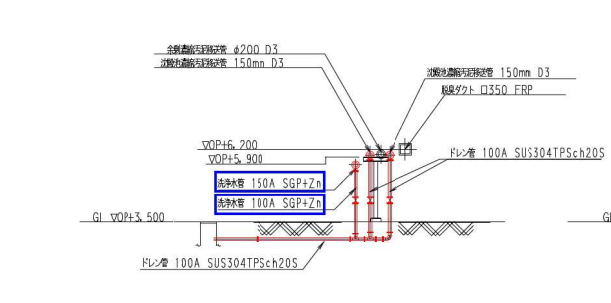
B-B 断面図



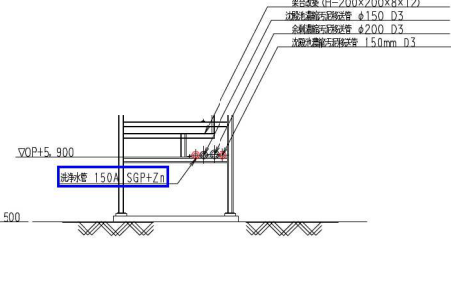
C-C 断面図



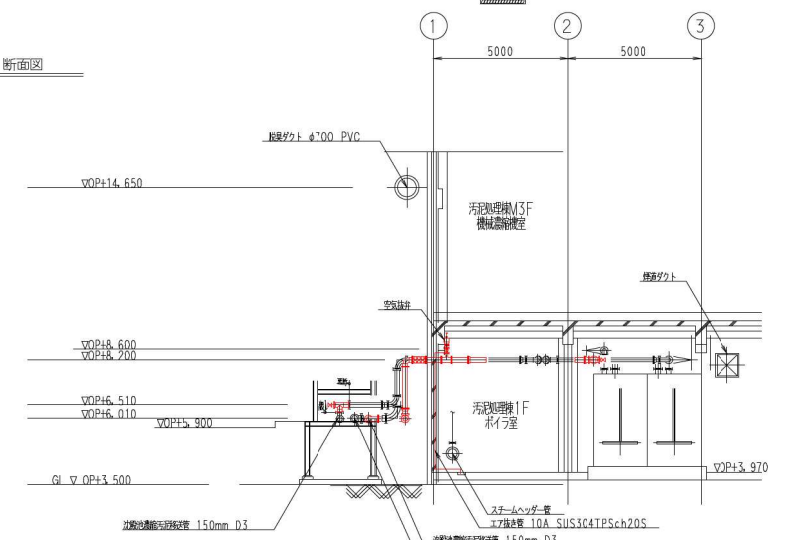
F-F 断面図



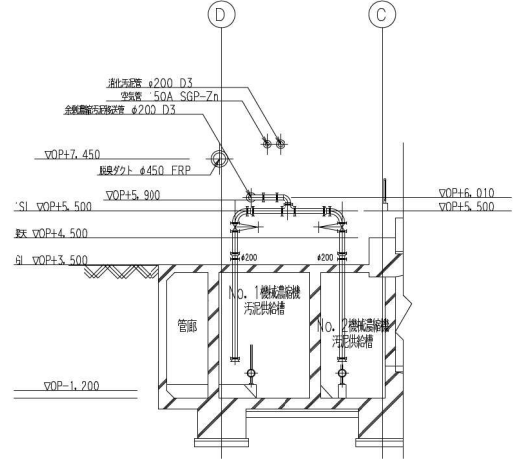
D-D 断面図



E-E 断面図



I-I 断面図

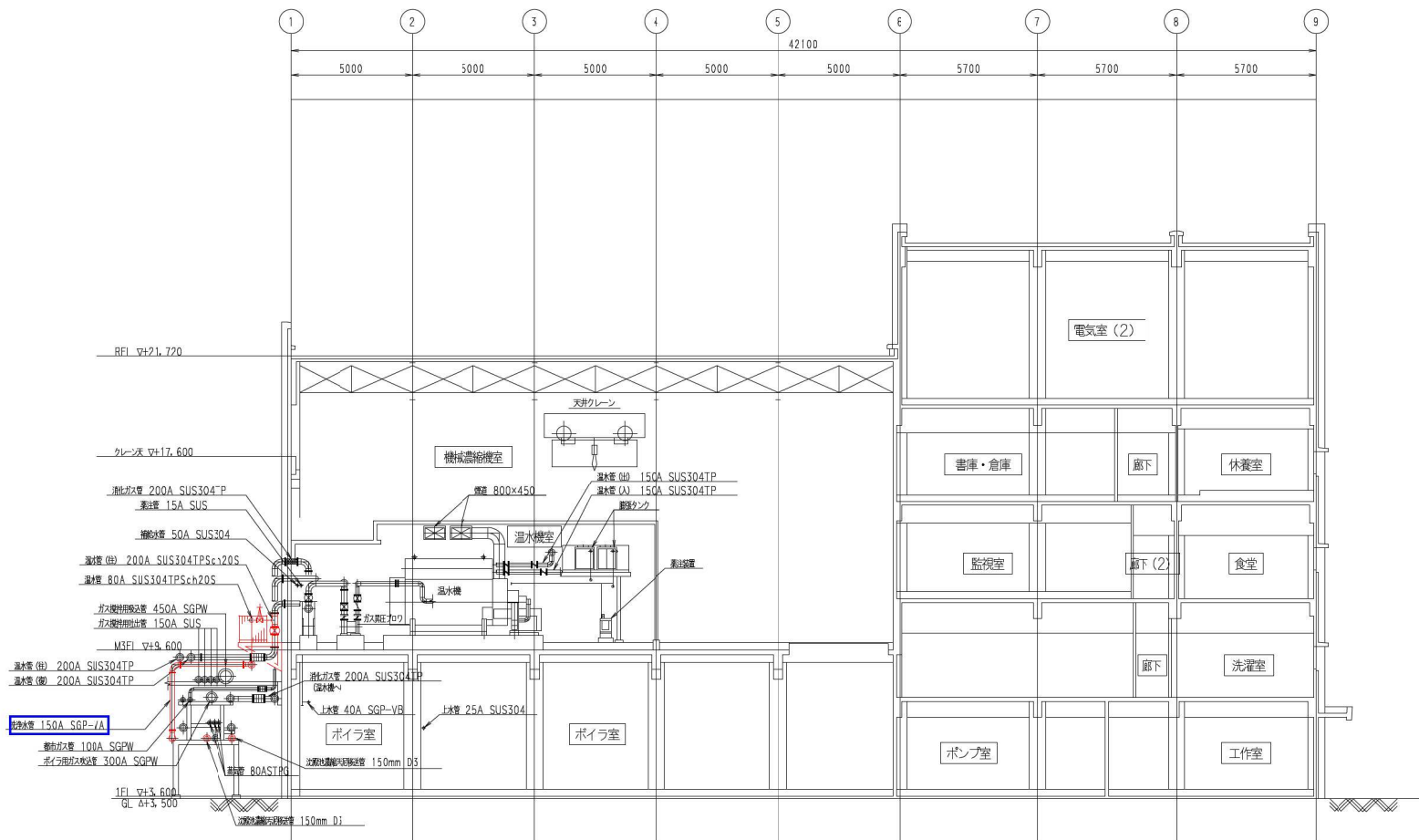


J-J 断面図

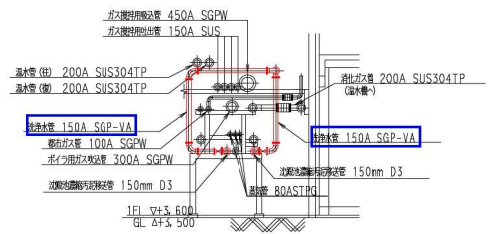
注記
 1. 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
 屋外：御保温箱（保温材）、SUS鋼板（外装材）
 屋内：御保温箱（保温材）、アルミガラスクロス（外装材）
 2. 既設・更新の汚泥移送管の保温箱（90仕切付付）の目的は水洗浄とし、保温は着脱可とする。

■ 部は本工事施工範囲を示す。

名	放出下水処理場		
	汚泥濃縮前処理外設備工事【訂正後】		
称	濃縮汚泥引管工 配管断面図（更新）		
	尺度	1/200	PM-
		全7/裏内第63号	
大阪市建設局下水道部設備課			



G-G断面図

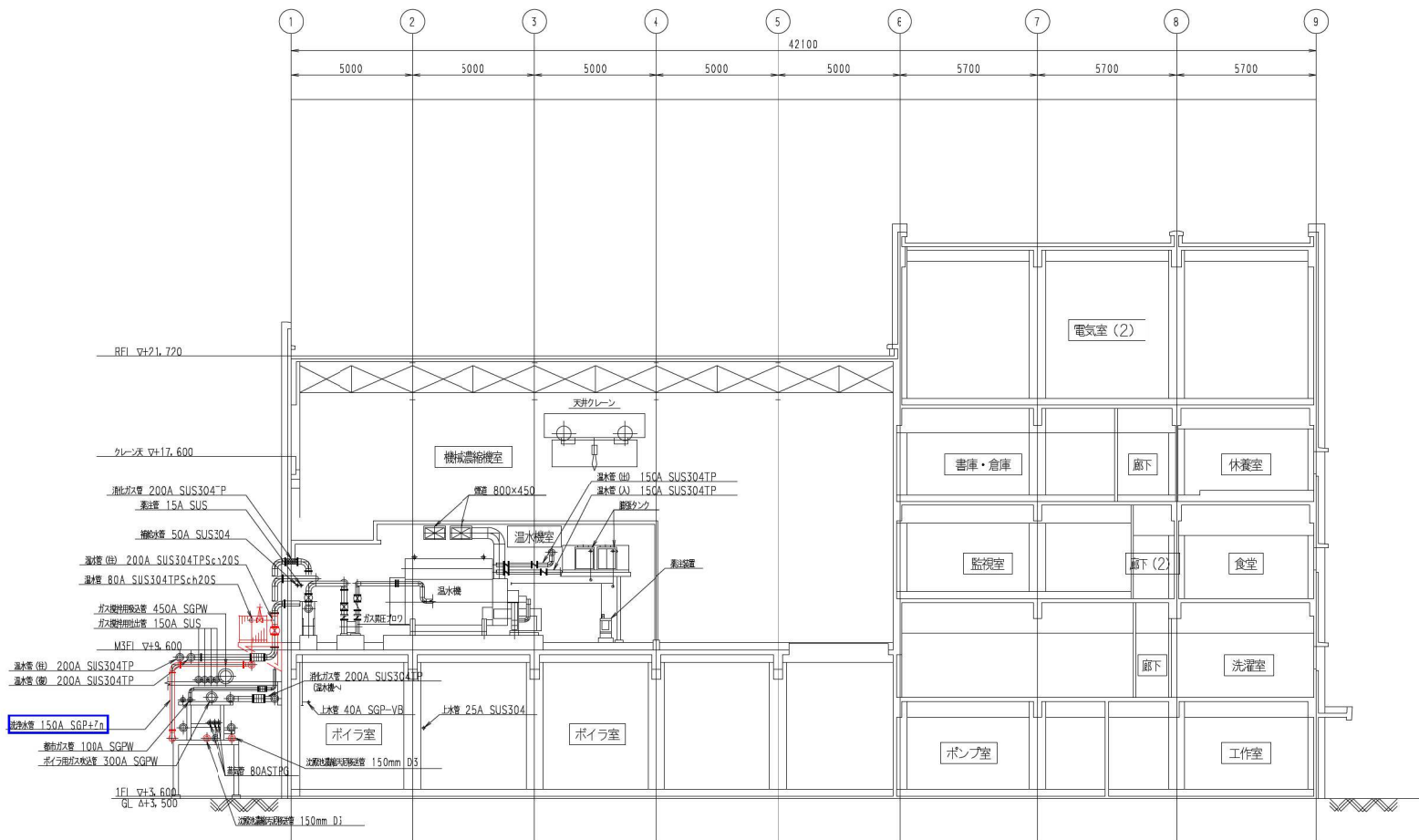


H-H断面図

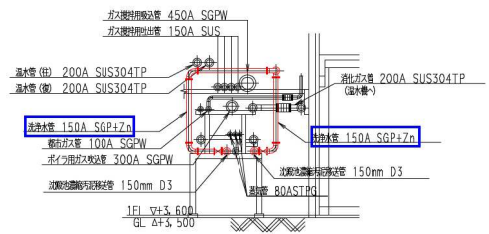
- 注記
- 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
 屋外：GW保温筒（保温材）、SUS鋼板（外装材）
 屋内：GW保温筒（保温材）、アルミガラスクロス（外装材）
 - 既設・更新の汚泥移送管の寸管部（50Aは切替付き）の目的は水洗浄とし、保温は省略可とする。

■部は本工事施工範囲を示す。

名称	放出下水処理場		
	汚泥濃縮前処理外設備工事【訂正前】		
尺度	1/200	PM-	
		全79頁内第65号	
大阪市建設局下水道部設備課			



G-G断面図



H-H断面図

注記
 1. 汚泥移送管には、下記の保温を施行する。
 屋外：GW保温筒（保温材）、SUS鋼板（外装材）
 屋内：GW保温筒（保温材）、アルミガラスクロス（外装材）
 2. 既設・更新の汚泥移送管の寸法管部（50Aは切替付き）の目的は水洗浄とし、保温は省略可とする。

■部は本工事施工範囲を示す。

名称	放出下水処理場		
	汚泥濃縮前処理外設備工事【訂正後】		
尺度	濃縮汚泥引抜管工 温水機室断面図（更新）		
	1/200	PM-	
	全79頁内第65号		
大阪市建設局下水道部設備課			